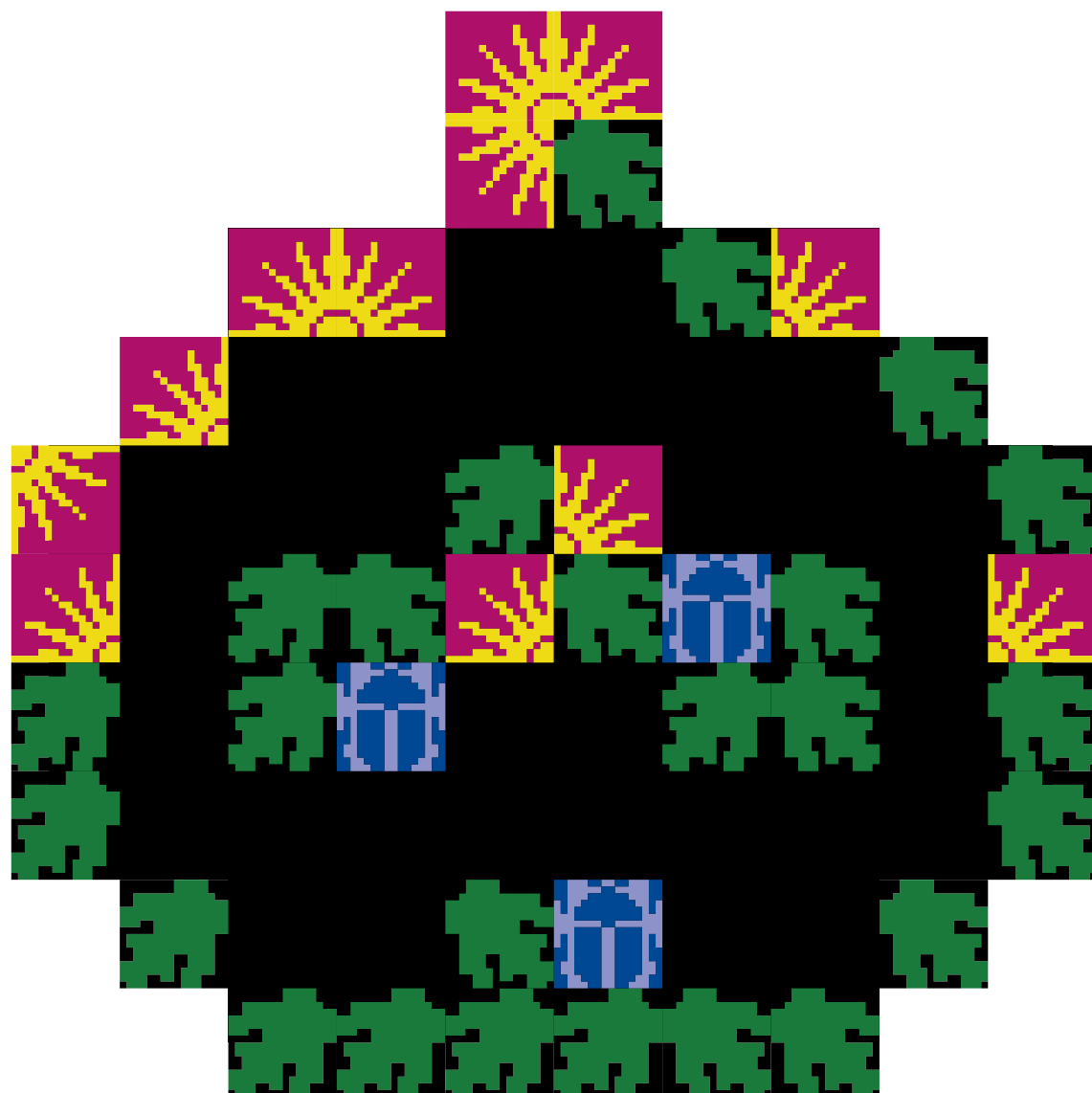


観 自 在



不意に立ち止まって風景を聴いてみる

鳥の声の合間に風が葉を揺らし、小川がコボコボと持続している。遠くで誰かの笑い声をする。
それは私が立ち止まった時間と場所でしか聴き得ない奇跡の音楽である。

第②回

500年先への 手紙

築田寺は歴史を受け継ぎ、その文化を500年先に手渡していく試みを続けています。
500年後、この土地に生きる人たちに140文字(ℵ)～500文字(ⒺThreads)で
手紙を書いていただきます。今回は築田寺のお仲間紹介でもご登場いただいた
CONZEN COFFEEの小井土雄太さんにお願ひしました。

もしこのメッセージが届いているのであれば、これを読んでいる人は今とはまったく違う暮らしをしているかと思
います。

過去を振り返ると、今から500年前の日本は、刀を手に戦い合っていた戦国時代でしょうか。

世界はまだ大陸がいくつもあることを知らないのではないかと思います。

おそらく、500年後の人は私たちの想像もできない暮らしをしているかと思いますが、それでも、誰かと笑い合っ
たり、おいしいものを食べたりする喜びだけは、変わらず残っていてほしいと願っています。

近頃、気候変動の影響で、「未来にはコーヒーが作れなくなるかもしれない」とも言われています。

もし、500年後にコーヒーという飲み物が無かったら、ぜひ作ることにチャレンジしてみてください。もし、商品
化できたら世界中で大ヒット間違いなしですが、やっぱり無くならないでほしいです。

ちなみに、今の住職はお寺の山に縄文時代のトイレを作ったりしていますよ。

行事

彼岸大施餓鬼会

9月23日(水・秋分の日) 13時より

13時—秋彼岸法要 14時—施餓鬼会法要

- ◆施餓鬼法要・塔婆供養(内陣にて)
- ◆焼香が終わった方から順次塔婆をお渡しします。
※塔婆の引取りはゆっくり時間に合わせておいでください。
- ◆施食はありません。※無縁墓地には当山で施食をいたします。
- ◆お花はこまれば堂前で販売します。

行事

YATOの縁日

9月23日(水・秋分の日) 15時より

- ◆影絵イベント(川村亘平斎氏)
- ◆踊り・バグパイプ・餅つき
- ◆出店(飲み物・軽食や各種販売など)。築田寺境内と駐車場にて。



表紙「無花果」
絵: hermime (ヘルミッペ)

イラストレーター(ドット絵)。昔飛び出した故郷・多摩ニュータウンで見た気がする集合住宅を描いたり、SFのお話の挿絵を描いたり、虫を
よく見て描いたりして暮らしています。ミュージックビデオ/VJ/商品コラボ/リソグラフ/刺繍/レコードジャケット/ZINEなど制作。



築田寺

〒194-0035
東京都町田市忠生 2-5-33
電話 042 791 0602



Website
ryoudenji.net



Instagram
@ryoudenji



Facebook
ryoudenji

住職の観光

住職 齋藤 紘良

あるく とまる

おんがくがはじまる

目の前で無花果の葉が揺れている。ふっくらとした実に鳥たちが味を楽しんだ跡がある。

築田寺の山道を歩く

鳥が鳴いている

不意に立ち止まる

草木が揺れる

耳を澄ます

辺りの環境の音に気づく

私は不意に立ち止まるのが好きだ。立ち止まった瞬間に世界の音が耳に流れ込んでくる。鳥の声の合間に風が草木を揺らし、小川がコボコボと持続音を流している。それは私が立ち止まった時間と場所でしか聴き得ない奇跡の音の集合体である。

環境から聴こえる音の世界をカナダの作曲家マリー・シエーフアーは「サウンドスケープ（音風景）」と名付けた。

私は音楽を聴くことも大好きだ。西洋音楽も東洋音楽も中東音楽も黒人音楽も中南米音楽も各地民族音楽も唐楽も雅楽も電子音楽もノイズ音楽も楽しく聴くことができる。そしてさらにサウンドスケープを楽しむ感

覚も持っている。街の工事現場のシヨベルカーの音も楽しめる時もある。しかし、まだまだ出会っていない音楽がたくさんあることも知っている。その瞬間その場所でしか聴くことのできないサウンドスケープを含めるならば、私が楽しめている音楽などは銀河の塵の一粒ほどにも満たない。

アメリカの音響生態学者バーニー・クラウドスは、ある時、森の奥で重大なことに気がついた。木々のざわめきや虫や動物の声など森の中で発せられる音それぞれが見事に調和しており、まるで夜更けから日がのぼるまで森のオーケストラを聴いているようだった。クラウドスは録音した音をコンピュータで解析し音のスペクトラムを画面に映してみると、森の中の音が完全に周波数領域を分かち合っていたのだ。つまり、動物や植物や昆虫たちは闇雲に音を出しているのではなく森の中でハーモニー（調和音）を奏でながら一夜を過ごしていたということになる。

音楽を持ち歩けなかった時代の人々は、夕暮れに散歩をしながらひぐらしの声を聴き音風景を楽しんでいたことだろう。それはほんの数十年前の日常であり当時の人々は世界の音に耳を傾けていた。未だ聴いたことのない音楽を求めて、私はこれから様々な場所でサウンドスケープを楽しむんでいこうと思う。

いまさら聞けない!? 仏教行事

施餓鬼会

例年、築田寺では秋彼岸法要とあわせて大施餓鬼法要（だいせがきほうよう）を行っています。お施餓鬼というのは、読んで字のごとく「餓鬼に施す」ことを言います。死後、六道輪廻（ろくどうりんね）の餓鬼界に堕ちたもの達に食べ物を施し、その霊を供養する法要です。

お施餓鬼の始まりは、お釈迦さまの弟子の一人、阿難（あなん）尊者の前に、やせ細って口から火を吹く「餓鬼」が現れ「お前は三日後に命が尽きて餓鬼の世界に落ちる。救われたければ、全ての餓鬼に食べ物を与えよ」と言いました。餓鬼の世界というのは食べ物を口に入れようとする、全部火に変わって、いつまでも飢えて苦しむ世界です。

驚いた阿難尊者が、お釈迦さまに相談すると「少しの食べ物を多くの餓

鬼や僧侶に施しなさい。そうすればお前は助かり、餓鬼たちも救われるであろう」と説かれました。尊者は、その教えの通り食べ物を施し、命が助かりました。この故事が、お施餓鬼の始まりと言われております。

餓鬼の世界に堕ちるのは「自分さえ良ければいい」「もっと欲しい、もっと欲しい」という「むさぼりの心」や、「あの人が羨ましい」「なんで自分だけが損をするんだ」と言った「嫉妬する心」が原因であると言われます。現代風に考えますと、自分の心を満たすことばかり考えている姿が餓鬼そのものかもしれません。

餓鬼に施すということは、実は「自分の中の貪欲さ」に気づき、それを手放すことです。他者を思いやり、分け与える。その温かい心こそが、お施餓鬼の本当の意味だと思います。地域の方や身近な方へ「ありがとう」、「ご苦労さま」、「こんにちは」と、笑顔という名の「お供え」をして、豊かな心で日々お過ごしください。

築田寺百景 築田寺の畑



稲荷神社側の山内にある、迷路のような小さな畑。2024年秋、住職の呼びかけで「畑部」が始まり、笹や葛に覆われていた一角を皆で開墾しました。今ではさまざまな世代や職業の人々が集い、野菜やハーブ、野草を育てています。食堂「ときとそら」の食材にも活用しながら、寺の森を未来へつなぐ活動のひとつとなっています。

の お 仲 間 紹 介

築

田

寺

こだわりのコーヒーと居心地のよい空間を提供する
CONZEN COFFEEのオーナー・小井土雄太さんにお話を伺いました。

No.
03 CONZEN
COFFEE

オーナー／コーヒーロースター
小井土雄太 さん



名前の由来

「渾然一体」という熟語からアイデアをもらいました。

「渾然」とは、「別々のものが溶け合い、境界がないさま」という意味です。

お寺や花屋、保育園や幼稚園などの場を利用する人たちが、コーヒーを通して自然に混ざり合える場をつくりたい。そんな思いを込めてこの名前を付けました。後から気付きましたが、コーヒーも数百種類もの成分が溶け合って一杯のコーヒーになるので、これもまさにコンゼンのことです。さらに考えてみると、世の中のあらゆるもの、というか世の中そのものが、渾然一体的であるので、そういう意味では「コンゼン」という言葉はあまりに汎用性が高すぎる気がします、それほど大切な考え方だと感じています。

普段の活動

生産地ごとの気象や地理的条件に由来するユニークな風味のスペシャルティコーヒー。それぞれの豆の持ち味を丁寧に引き出しながら、焙煎・抽出をおこなっています。コーヒーにまつわるあらゆる人々の暮らしが豊かになることを目指してお店の運営をしています。

お寺との関わり

お寺の坐禅会に参加された方々が、坐禅の後によく立ち寄ってくださいます。「坐禅中にコーヒーが飲みたくなっちゃうんだよね」と言われることもあり、煩惱を誘発してしまっ

コンゼンのアピールポイント！

世界でもかなり希少なスペシャルティコーヒーを扱っており、その中でも特に希少なロットも取り揃えております。もちろん、親しみやすい味わいのコーヒーや、お子さまでも楽しめるドリンクもご用意しており、年齢やコーヒーの知識に関係なく、全ての人が楽しんでいただけるコーヒースタンドです。



CONZEN COFFEE
東京都町田市忠生2-5-90
営業時間
月12時～19時
木金土10時～19時
日10時～17時／火水定休



<https://conzen.jp/>